

小城市立岩松小学校
学校だより 第17号



岩松小だより

令和7年8月8日発行
発行者 校長 真子靖弘

夏休みも後半、平和を願う心とともに

夏休みもいよいよ折り返しとなります。子どもたちは、この貴重な時間をどう過ごしているでしょうか。元気に遊び、本を読み、学習に励む姿を想像しています。



さて、明日**8月9日**は、**長崎**に**原子爆弾**が投下されてから80年を迎える日です。私たちは、この出来事を決して風化させてはなりません。

今年の**長崎平和祈念式典**では、爆心地に近い**城山小**と**山里小**の**5,6年生100人**が、**初めて合同**で合唱を披露します。2000年に始まった式典での児童合唱は、隔年で、城山小が「子らのみ魂よ」、山里小は「あの子」を歌ってきました。今年、彼らが歌うのは、長崎出身の**福山雅治**さんが作詞作曲した『**クスノキ**』という曲です。この曲は、原爆で焼かれながらも力強く生き続ける、**山王神社**の「**被爆クスノキ**」の姿が歌われています。特に、「**我はこの丘 この丘で生きる**」という歌詞には、福山さんの**平和への強い祈り**を感じます。また、福山さんは、この**歌詞の主語**を「人間」ではなく「**木**」にすることで、曲の核心をつかむことができたと言っています。

11月の修学旅行で実際にこの「被爆クスノキ」を訪れる6年生には、この歌を思い出し、クスノキがどんな思いでそこに立ち続けているのか、想像を巡らせるなど、平和について深く考える機会にしてほしいと願っています。



明日の長崎平和記念式典は、テレビで中継される予定です。この機会にご家族で視聴し、平和について考えるひとときを過ごされてはいかがでしょうか。



土曜寺子屋で水鉄砲遊び

8/2(土)、岩松小学校横の親水公園で「**水鉄砲で水遊び**」が開催されました。**約30名**の子どもたちが参加し、**古川教諭**と水をかけ合い、びしょ濡れになるまで遊び、夏の楽しい思い出を作りました。

次回の土曜寺子屋は8/23(土)、**鯉料理**です。

「太田信介・宏介」ご兄弟に学ぶ、支え合う心

8/3(日)、アバンセにて開催された「講演会＆ライブペインティング」に参加してきました。**太田信介**さんと**太田宏介**さんご兄弟を講師にお迎えし、「**きょうだいの絆。～障がいのある弟と共に歩む～**」という演題でご講演いただきました。



画家としてご活躍されている弟の宏介さんの絵は、昨年秋に放送されたTBSの金曜ドラマ『**ライオンの隠れ家**』で採用されており、ご覧になった方もいらっしゃるかもしれません。

講演会では、兄の信介さんが、**自閉症**である弟の宏介さんと歩んできた道のりについてお話くださいました。弟の存在に触れることを避けていた時期があったこと、そして、宏介さんが絵を習い始めたきっかけから、画家として認められるようになるまでの出来事まで、ご自身の経験を交えながら語ってくださいました。

講演の間、宏介さんはステージ上で**ライブペインティング**を披露され、鮮やかなキリンの絵を集中して描かれていました。弟の作品を世に広めようと尽力される信介さんと、ひたむきに作品に向き合う宏介さんの姿に、心を打たれるとともに、大きな勇気をいただきました。

今回の講演会を通して、**他者と向き合い、支え合いながら生きていくことの大切さ**を改めて感じました。

岩松小チーム、ドッジビー大会で優勝！

岩松小学校の子どもたちが、**小城市子どもクラブドッジビー大会**で見事**優勝**しました。決勝戦は同じ岩松小学校同士の対決となりました。

先日、優勝報告のため、子どもたちが学校に来てくれ、**8/24(日)**に開催される**県大会**に向けて練習に励んでいました。



県大会は、小城市のりスポーツセンター（芦刈文化体育館）で行われます。ご都合がつく方は、ぜひ応援をよろしくお願いいたします。